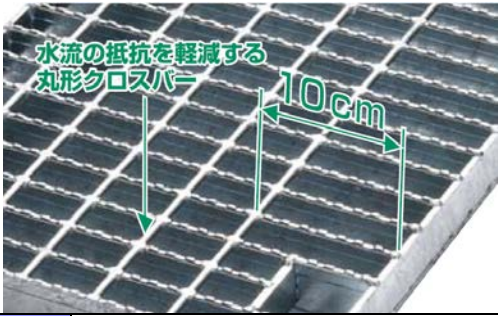




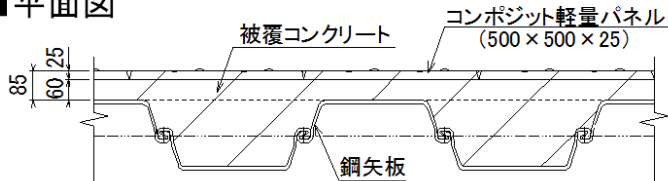

提案別	発注者提案型	企業名 問合せ先	株式会社ダイクレ TEL 03-5628-1071
応募年度	H23	製品・技術名	越流抑止グレーチング スムーズレイン
<b>提 案 概 要</b>			
<p>クロスバーを丸形とすることで水の抵抗力を軽減させ、またクロスバーピッチを上流側のみ100mmに拡大することで水の自由落下を助長させることにより、側溝への雨水の流入を改善する。</p>			
 			
試験箇所	東松山県土整備事務所／東松山県土整備事務所管内		
事後評価 概要	グレーチングの目詰まりが起りにくく、雨水が越流することなくグレーチング内に流入していた。道路の路面排水の改善が図られたことから、本製品は有効であると判断する。		

提案別	発注者提案型	企業名 問合せ先	信号器材株式会社 TEL 048-861-1993
応募年度	H26	製品・技術名	溶融噴射式カラー舗装 ミストグリップ
<b>提 案 概 要</b>			
<p>専用施工機・材料を用いて路面に対し霧状（ミスト）の塗料を噴射し、路面をカラー化する。速乾材料のため、施工後速やかな交通開放が可能である。材料に硬質骨材を含有しているため、降雨時等にも滑り抵抗性が急激に減少しないなど、耐滑走性効果が期待できる。</p>			
 			
試験箇所	東松山県土整備事務所／主要地方道川越栗橋線（川島町）		
事後評価 概要	噴射工法にて舗装部と側溝部の段差部にも塗布することができ、また施工後塗布材の剥離は確認されなかった。交通解放までの施工時間が短く、降雨時等にも滑り抵抗性が急激に減少しないなど、本製品は有効であると判断する。		

提案別	応募者提案型	企業名 問合せ先	共栄建材工業株式会社 TEL 0480-48-7401
応募年度	H27	製品・技術名	静かな側溝 FX側溝
<b>提 案 概 要</b>			
<p>軽量化に加え、内吊りの専用吊り具より、安全でかつ丁張りの水系に触れずに施工できます。また、蓋の軽量化により、施工後の維持管理も容易になります。側溝蓋受け面と蓋下面でネジレが生じてもガタツキがなく、騒音の発生をシャットアウトします。</p>			
<p>トリプルサポート機能の働きによりガタツキ及び跳ね上がりを解消。</p>			
試験箇所	北本県土整備事務所／一般県道上尾環状線（伊奈町）		
事後評価 概要	側溝の軽量化による施工性の向上が見られ、また狭隘な施工箇所での施工も可能であった。施工後は、車両によるガタツキ音もなく、蓋の割れや破損も確認されなかった。ガタツキがなく平坦性や歩行性の向上もみられるなど、本製品は有効であると判断する。		

提案別	発注者提案型	企業名 問合せ先	丸栄コンクリート工業株式会社 TEL 048-661-1700
応募年度	H28	製品・技術名	鋼矢板護岸の防食工法 エクステリアパネル
<b>提 案 概 要</b>			
<p>既設笠コンを利用してコンクリートパネルを設置し、鋼矢板との間に中詰めコンクリートを打設することで、鋼矢板護岸の防食を図るもの。コンクリートパネルは基本厚 120mm であり、フラットタイプ、擬石タイプがある。</p>			
事後評価 概要	鋼矢板護岸をコンクリートパネルで覆う工法は、河川の流下による浸食を防止する機能が強く、鋼矢板護岸の防食工法として効果が期待できることから、有効であると判断できる。		

提案別	発注者提案型	企業名 問合せ先	共和コンクリート工業株式会社 TEL 048-837-1321
応募年度	H28	製品・技術名	鋼矢板護岸の防食工法 オールガードパネル工法
<b>提 案 概 要</b>			
<p>鋼矢板の前面にコンクリートパネルを設置し、鋼矢板との間に中詰めコンクリートを打設することで、鋼矢板護岸の防食を図るもの。コンクリートパネルは基本厚 120mm であり、フラットタイプ、擬石タイプ、特殊タイプ（特殊模様やアミノ酸配合）がある。アミノ酸を配合したパネルについては、微生物が付着・活性化され環境保全効果（生態系の多様化、水質浄化等）が期待できる。</p>			
			
事後評価 概要	<p>鋼矢板護岸をコンクリートパネルで覆う工法は、河川の流下による浸食を防止する機能が高く、鋼矢板護岸の防食工法として効果が期待できることから、有効であると判断できる。</p>		

提案別	発注者提案型	企業名 問合せ先	島田建設工業株式会社・株式会社メーソン TEL 03-5687-5621
応募年度	H28	製品・技術名	鋼矢板護岸の防食工法 コンポジット軽量残存型枠被覆工
<b>提 案 概 要</b>			
<p>鋼矢板前面に小型軽量 PC パネルを設置し、鋼矢板との間に中詰めコンクリートを打設することで、鋼矢板護岸の防食を図るもの。PC パネルは基本厚 25mm と壁厚を薄くでき、フラットタイプ、擬石タイプがある。パネル1枚 13.5kg と軽量で、現場でのパネル加工、人力施工が可能。また金具に追従機能があり、半径 10m 程度の急カーブ施工が可能である。</p>			
		<p><b>最小壁厚：パネル厚25mm +コンクリート厚60mm = 85mm</b></p>	
<p>■ 平面図</p>			
			
事後評価 概要	<p>鋼矢板護岸をコンクリートパネルで覆う工法は、河川の流下による浸食を防止する機能が高く、鋼矢板護岸の防食工法として効果が期待できることから、有効であると判断できる。</p>		

